

第 11 課 人との付き合い〈話してみよう〉

田中 : サリムさん、なんか今日は元気がありませんね。どうしたんですか。

サリム : え、そうですか。そんなこと、ありませんよ。

田中 : 何かあったのなら、遠慮なく言ってくださいよ。

サリム : いや、実は、昨日と今朝と、2 回も大家さんに注意されてしまって…。

田中 : 注意って、どんな？ 何か、あったの？

サリム : 昨日はごみの捨て方が悪いって。ちゃんと分別してくださいって言われました。

田中 : ああ、燃えるごみとか、燃えないごみとかね。面倒だけど、それはやらなくちゃね。

サリム : ええ、もちろん、それはわかります。それと、今朝はね、僕の家は 1 階なんですけど、よく猫が来るんで、ちょっと食べ物をやってたら、また注意されたんです。

田中 : ああ、そうだね。猫が家の周りをうろうろしたら、嫌がる人もいるからね。

サリム : そうですね。でも、小さい猫でかわいそうだったから、つい…。まあ、ごみのことも猫のことも自分が良くなかったと思いますが、なんかいつも見られているようで…。

田中 : 見られている？ 誰に？ 大家さんですか。

サリム : ん、ま、大家さんもそうだし、近所の人たちにも…。よく「昨日来た人はお友達？」とか、「一晩中洗濯物を干したままでしたよ」とか、いろいろ言われます。僕の誤解かもしれないけど、なんか、最近ちょっとストレスですね。

田中 : そうか、なるほど。悪気はないと思うんですけどね。

サリム : 僕が外国人だから、ですよ。しょうがないです。

田中 : いや、サリムさんのことを気にしているんじゃないかな…。もっと話してみたら？

サリム : そうですね。

第 11 課 人との付き合い〈読んでみよう〉

今日はサリムさんの様子がいつもと少し違ったので、田中さんが心配して理由を尋ねてみたところ、サリムさんは、大家さんから昨日と今朝、2 回も注意されたとのことでした。昨日はごみの捨て方が悪かったので、「ちゃんと分別してください」と言われました。そして、今朝は、猫に食べ物をやっているとき、注意されました。サリムさんは自分が良くなかったと思っていますが、大家さんや近所の人たちにいつも見られているような気がしています。そして、それがストレスだと言っています。

田中さんは、「大家さんや近所の人たちに悪気はなく、ただサリムさんのことを気にしているだけだ」と言いました。でも、サリムさんは、みんながいろいろ言うのは、自分が外国人だからだろうと思っています。そして、それはしょうがないことだと考えています。それを聞いて、田中さんは、「大家さんや近所の人たちともっと話してみたほうがいい」と言っています。